

2017-2018 年度 会長: 立花 徳久 会長エレクト: 三田 望 幹事: 阿部 一郎
例会日: 毎週火曜日 12:30~13:30 会場: ホテル花城 0198-22-2333
事務局: 〒025-0075 岩手県花巻市花城町 10-27 花巻商工会議所内 0198-41-1133
Mail: hrc@hanamaki-cci.or.jp URL: <http://www.hanamaki-rc.com>

10 月 RI 月間テーマ「経済と地域社会の発展」 第 3063 回例会/No.12 2017 年 10 月 3 日

◆例会プログラム

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱
3. ローターソング斉唱
4. 四つのテスト
5. 会長の時間
6. 慶祝
7. 米山奨学金贈呈 米山奨学生スピーチ(コウ・シヘイさん)
8. 幹事および委員会報告
9. 出席報告
10. ニコニコボックス
11. 閉会点鐘

◆幹事報告

- ・10 月ローターレート 1 ドル=112 円 [ガバナー事務所]
- ・2018 年 3 月 1 日(木)第 6 回日台ローター親善会議のご案内 [ガバナー事務所]
- ・(一社)比国育英会バギオ基金 第 39 回バギオ訪問交流の旅 [提唱クラブ 東京田園調布ロータークラブ]
- ・10 月米山月間資料の誤りについて [(公財)ローター米山奨学会]

◆第 3062 (9/26) 例会の概要

■会長の時間「10 回/48 回」立花 徳久 君



こんにちは。今日は下町先生が卓話を担当するという事で楽しみにしております。昨日、遅ればせながら業界のメンバーと岩泉町を訪問し、義援金を届けてまいりました。そして被災した現場を案内して頂き、入居者 9 名が犠牲になった高齢者グループホームの跡地、岩泉ヨーグルトを生産している岩泉乳業様の新工場を視察してきました。岩泉乳業様の新工場は 10 月 1 日から生産を再開するという事で、稼働前の完成間もない工場内部を見学させて頂きました。設備は綺麗にリニューアルされ、生産量は被災前と同程度まで回復する予定とのことです。

社長さんからは、市場の大半のヨーグルトは短時間で大量製造できる超高温瞬間殺菌法 (120~130℃) で製造していますが、岩泉ヨーグルトは温度を抑えた高温保持殺菌法 (80℃) でゆっくりと時間をかけ製造することで搾りたての味にこだわった、まったりとした濃厚な味わいのある製品が完成されるとの説明を受けました。私も確かに岩泉ヨーグルトの美味しさを理解しておりますが、東京の親戚に同社のヨーグルトを贈った際、その美味しさに大変感激しておりました。

昨年 8 月の台風 10 号の豪雨で被災しからの再スタートとなりましたが、どのようにして適正温度 (低温) を維持し長時間発酵させるのか疑問にもっておりました。タンクの周りに熱いお湯を回してその中に原料の牛乳を貯乳し、徹底した品質管理のもと 35℃ まで温度を下げ 18 時間かけてじっくりと熟成する生産工程を行っているそうです。

一方、工場の向かいにあった高齢者グループホーム等の施設は撤去され、跡地にはプレハブが建てられていました。改めて被災した土地を見てみると、危険な場所に施設が立地されていたことを痛感しました。しかし隣接地では既に介護老人施設が再開し、そして岩泉乳業様の新工場も被災した跡地で間もなく生産を開始します。再び被害にあわないことを祈っております。岩泉町の立地をみると切り立った山と川の間に形成された谷底低地の地形のため、不幸にして今回のような大災害に見舞われてしまったのかなと感じてまいりました。工場視察後、20 年振りに龍泉洞を見学してきました。

現在は地元の方や全国から訪れてきているボランティアの方々が、ガイドとして見学者に帯同し施設を案内しております。私達に帯同したガイドさんは 20 代 (新潟出身) で趣味がケイピング (洞窟探検: 観光地のように道路や照明が整備されていない洞窟を探検する活動) のアクティブな女性でした。各地から若い方々がボランティアとして岩泉町に滞在し活動することで、岩泉町が復興に向け歩みはじめたと認

識しました。しかし、道路事情は 2 車線の片側一車線が土砂等で通行不能の状態が続くなど、交通の不便はまだ解消されていません。岩手は沿岸の復興も道半ばで、岩泉町の復興もこれからかなりの時間を要します。

確かに復興・復旧を進めるには財源の問題がネックとなりますが、やはりインフラ基盤の復旧は被災地住民のためにも最優先で取り組むべき事項です。私は花巻に住んで大きな災害を経験したことはなく、東日本大震災の時も車中のテレビで初めて被害の状況を知り、岩泉町の場合もあそこまで大変な被害状況に陥っていることを理解しておりませんでした。

震災にあった地域の人々のご苦労を見る度に自分が恵まれた地域で生活していることを認識し、活かされている自分を見つめ直す契機となりました。それでは、下町先生、この後、会員卓話を宜しくお願いします。

◆会員卓話 下町 壽男 君 「最近の花高のホットニュースから」

みなさんこんにちは。花巻北高校の下町です。「最近の花高のホットニュースから」というタイトルは決めたものの、話す内容がなかなか決まりませんでした。そこで、今回は、右写真のような 6 つのトピックを事前に取り急ぎ作り、サイコロトークの形式でその中のいくつかについてお話することになりました。サイコロを振ってもらったところ、4 と 2 と 6 の目が出ました。では話した内容を以下にかいつまんで説明いたします。



サイコロ④万葉植物園復古の真の意味

本校には「万葉植物園」という庭園があります。当初は、万葉集に因んだ植物がそれはたくさんえられていた素晴らしい庭園だったそうです。しかし、その万葉植物園は数十年来放置され、今では、草がぼうぼうと生い茂り、池は泥沼状態になって、ボウフラの住処になっています。

そんな中、今、3 人の有志が中心となって万葉植物園を復活させようとしています。これまでも、生徒会などを中心に万葉植物園復興の議論が行われてきました。そんな彼らの強い思いにもかかわらず、復興が前進しなかったのはなぜか。時間の問題、資金の問題、マンパワーの問題...いろいろと考えているうちに、私は、この万葉植物園の荒廃と復興の根底には、教育の根幹に関わる大きな問題が横たわっているのではないかと気づきました。万葉植物園なんて、別に整備しなくても、生徒の学力向上や進路実現や部活動での成果が停滞するわけではありません。むしろ、その整備に費やす時間とお金を、部活や学力向上策のために充てる方がいだろうという人がいるかもしれません。しかし私は敢えてこう考えます。万葉植物園が忘れられ、放置され、荒廃していった歴史は学校が学習の効率性を追い求めるために無駄をそぎ落とし、文武両道の名のもとに進学実績や部活動の成果に邁進してきたことの象徴ではないだろうか。

すると、生徒からの万葉植物園復興の声に耳を傾け、行動をとるにできるかどうかは、学校の見識、教育に対するスタンスが問われる、いわば試金石なのではないか。そして、万葉植物園復興プロジェクトのリーダー 3 人に、私はこのような命題をつきつけられているのかもしれないと痛感したのです。そういうわけで、今私は、PTA や同窓会など洋々な場で万葉植物園復興を叫んでいます。そして、今、自分たちができることを必死で行っている、3 人のリーダーたちを支援する輪を作っていきたいと考えています。

サイコロ②シャッターアートの潜む花高生の思い

この夏、桜雲同窓会の永田さんという方から、自宅のシャッターに宮澤賢治ゆかりのアートデザインを、花北の生徒に描いてもらえないかという依頼がありました。永田さんの自宅は、宮澤賢治の生家の向かいにあり、まさに最高のロケーションです。

話がとんとん拍子にまとまり、本校の美術部の生徒3人による「花高生シャッターアートプロジェクト」が立ち上がり、彼女たちは、7月下旬から創作活動を行い8月上旬に見事に完成させました。制作途中、彼女たちの前に、多くの方が立ち止ります。興味深く見入っていく人、声をかけてくれる人、中には、アイスを食べながらくれる人などもありました。つまり、この活動は、花北美術部の活動であるとともに、地域活性化のトリガーでもあったのです。

だいぶ以前から、花巻市内のシャッター街の問題が取りざたされているわけですが、例えば街中のシャッターに全国のアーティストを呼んで作品を描いてもらい、シャッター街という負の遺産を逆に強みにしたアートフェスタをやるのはどうでしょうか。市内の高校生が町中のあちこちにシャッターアートを描き、それを探しながら花巻市の歴史や文化を学ぶウォークラリーというアイデアもあります。

花高シャッターアートはそんな地域の夢と希望を背負っているプロジェクトなのかもしれません。

サイコロ⑥〈オマケ〉天皇賞馬「デンメイ」から学んだこと

すみません。この話は、花高のホットニュースではなく、私個人の話になります。私の実家は、旧盛岡競馬場の近くでした。もう30年以上前の話ですが、私がその競馬場に行ったときとても驚いたことがありました。何と、天皇賞馬である「デンメイ」が私の目の前を走っていたのです。私はその時、思わず叫んでしまいました。「栄誉ある天皇賞馬として中央競馬を引退したデンメイを地方で走らせてよいのか！」

私は、デンメイの走る姿を目に焼き付けていました。彼は淡淡と走り、馬群に紛れ、着外でゴールしました。私はその様子を見て、少し考え方を変えました。「たとえ着外になろうとも、デンメイはプライドを捨てて走る姿を見せることで、地方の馬たちを育てているのではないか。地方から羽ばたけ、そして中央で輝け(今で言う、メイセイオペラ)」というメッセージをおくっていたのではないかと。

さて、話は変わりますが、実は私は最近還暦を迎えました。今年で定年退職です。すると、いろんな方が、退職後どうするのかと私に尋ねます。私は現在ノーブランです。年金が出るまで、晴耕雨読の、足るを知る生活で糊口を凌ぐのが目下の理想の姿です。でも、やりたいことはあります。それは、若い人たちに混ざって、学びの輪に加わること。そんなことを考えた時、三十数年ぶりにデンメイのことが思い出されたのです。「そうか。なぜデンメイは走ったのか。それは、走ることが習性であり、走ることが大好きだったからだ。競馬馬としての使命は他の馬に勝つこと。でも、本当は他の馬たちと併走し、人馬一体となって一瞬の風になることこそが本望だったのではないかと。」

私を天皇賞馬のデンメイとダブらせるのはおこがましい話なわけですが、勝手にデンメイにかこつけて自分の思いを語ろうと思います。

私は昔取った杵柄を振りかざしながら上からものを言うより、原点に戻って、ひたすら学び続ける人でいたい。その中で、社会や教育に見え隠れしている理不尽に対し、仲間と友にささやかに声をあげ行動できる存在になれば幸せだ。すまんデンメイ。天皇賞馬の君の名を、私の人生を語る引き合いに出してしまっ。

◆委員会報告 副会長兼クラブ奉仕大委員長 鹿討 康弘君



鹿討副会長より、IM花巻(2/26開催)を契機に当ロータリークラブと交流をスタートしたインクルいわて「こども食堂&しゃいん食堂」への参加報告と現在までの取組について説明がありました。

1. 「こども食堂&しゃいん食堂」017.9.23(土)15:30~18:30
2. 「つながるこども食堂いわて ネットワーク設立準備会参加」2017.9.2
3. 「花巻市社会福祉協議会」との意見交換
 - ・第1回 2017.8.10…社協4名、花巻RC鹿討副会長、阿部幹事※花巻RCとしての関わり方と現状のヒアリング、意見交換
 - ・第2回 2017.9.25 社協4名、花巻RC鹿討副会長「こども食堂&しゃいん食堂」の報告
 - 「社協…今から市内中学校の現状調査を開始」
 - 「今後も月1回の意見交換の時間を共有することに」

◆出席報告 ■ニコニコBox

33人中 15人出席
出席率 53.5% 前回修正 53.5%

◇メーキャップ

- ・9/14(木)青少年交換短期・長期奨学生との面接
佐々木史昭君、上田穰君、下町壽男君、立花徳久君
- ・9/21(木)盛岡滝ノ沢ロータリークラブ例会
阿部一郎君、三田望君、鹿討康弘君、橋川秀治君
- ・9/23(土)9/24(日)2017-18 東北地区青少年交換インバウンド合同オートタムキャンプ 佐々木史昭君

＜立花 徳久君＞下町先生、卓話ありがとうございます。この間面接にお伺いした時に生徒達の顔に笑顔が多い事に感じました。子供達の笑顔を絶やさぬ様に頑張って下さい。

＜阿部 一郎君＞9月21日盛岡滝の沢の夜例会にメーキャップして来ました。花巻RCメンバーは三田IL外、鹿討副会長、橋川大委員長と自分の4名で参加となりました。11名の小さなロータリーとして4名の出席で開催され、手作りの夜食をいただきました。様々な例会のあり方があると参考になさって頂きました。本日は下町先生の卓話ご苦労様でした。北高の現在の様子が解かり、増々頑張るって欲しいと思います。

＜吉田 和洋君＞花中 PTA 時代に作った地域スポーツ部の勝利、3年ぶり東北大会へ県代表として出場することになった様です。全国大会出場に向け頑張ってくださいと思います。

＜三田 望君＞下町先生、楽しい話をありがとうございます。ぜひ、パートⅡもお願いします。

＜滝田 吉郎君＞花巻東秋の県大会優勝おめでとう。90回選抜高校甲子園大会に向けて東北大会優勝を目指せ。今日から菊の会旅行、皆さんで楽しんでください。私も一人のんびり楽しめます。

＜佐々木 史昭君＞先週末は2800地区山形県、2530地区福島県、2520地区岩手宮城県の合計6ヶ国11人の長期交換インバウンド生の合同オートタムキャンプが蔵王で行われ、カーラリリーとともに出席して参りました。インバウンド生がお互いに情報交換し、激励し合うなど大変有意義でした。

＜鹿討 康弘君＞下町校長先生、楽しい卓話ありがとうございます。23日土曜日、こども食堂の日、午前中は3才の孫の運動会に行ってきました。入場行進で副園長に抱っこされている子供がいました。笑っていたら私の孫でした。内弁慶は私に似てしまったみたいです。

＜谷村 仁君＞下町さん、本日の卓話大変ご苦労様でした。郵便局への就職応募を宜しくお願いします。先日姪の結婚式で東京に行ってきました。前後の観光とお祝等々で金欠状態になっています。更に日曜日のバスツアーで到着時間が大幅に遅れ、予定の新幹線に乗れませんでした。仙台までしかなく、月曜日に仙台から朝一で帰ってきました。

＜橋川 秀治君＞下町先生、いつも楽しい卓話ありがとうございます。花高生の熱い気持ちが嬉しく頼もしいです。IMのこども食堂に触発され、弊社でも石鳥谷の小学生に工場見学や実験などのづくりの楽しさを伝える話しを進めています。イデア外も何かできれば…と考えているだけ…です。

＜下町 壽男君＞この度はロータリー海外派遣事業にかかわって本校から2人の生徒をお世話いただきありがとうございます。本日は私のつたない話をお聞きいただきありがとうございます。今週の金曜日の五日会でも話しをすることになっているので、もしかしたら、同じ話しを聞く人がいるかもしれません。ご容赦のほどを。

◇第3062回例会のメニュー『舞茸豆腐みぞれあんかけ』



◆今後のプログラム

- 10/10(火) 米山奨学会セミナー 米山奨学会委員長 稲田 典之君
- 10/17(火) 会員卓話 担当 横田 裕之 君
- 10/24(火) 会員卓話 担当 伊藤 隆規 君
- 10/26(木)~28(土) 吉岐RC訪問
- 10/31(火) 吉岐訪問報告 担当 橋川 秀治 君

クラブ会報委員会

委員長：藤田 勝敏 (今回担当) 副委員長：横田 裕之
AD：橋川 秀治、鹿討 康弘